



第85期報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

P.1 トップメッセージ
P.3 財務諸表
P.5 トピックス
P.6 会社概要



川本産業株式会社

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目6番4号 谷町ビル TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インクを使用しています。

川本産業株式会社

証券コード 3604

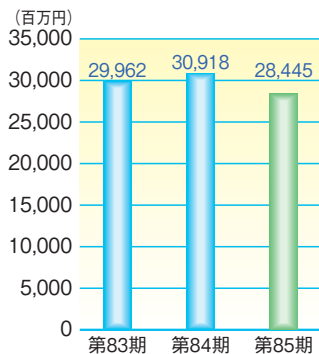


取締役会長
川本 武

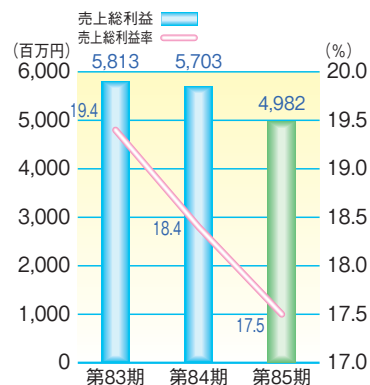


代表取締役社長執行役員
後藤 朋弘

売上高



売上総利益・売上総利益率



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて当社第85期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

Q 当期の業績はいかがだったでしょうか、また事業構造改革について教えてください

A 円安に伴う輸入品仕入コスト増加や国内の医療衛生材料市場の競争激化という厳しい経営環境の中、収益力の強化と人員構成の適正化を目的とした早期希望退職制度の実施をはじめ各種資産の売却等の事業構造改革を進めて参りました。厳しい経営環境の下、営業利益は確保出来ましたが、様々な事業構造改革を実施したことにより大幅な当期純損失となりました。

当社の当期の業績は、売上高は284億45百万円(前年同期比8.0%減少)、営業利益は66百万円(同21.6%減少)、経常利益は43百万円(同54.8%減少)、当期純損失は10億53百万円(前期は59百万円の当期純利益)となりました。

当期の売上高は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響や一部事業の収益性の低い取扱い品目の見直しを行ったことも影響し、製品売上・商品売上ともに減少いたしました。

また、急激に円安が進行したことによる輸入品価格の上昇のため、製品利益率が低下しました。これらの影響で売上総利益は49億82百万円(同12.7%減少)と大幅に減少いたしました。

経費面では、コスト削減に注力したこと及び早期希望退職制度の実施により総人件費が削減されたことにより、販売費及び一般管理費は49億15百万円(同12.5%減少)となりました。

また特別項目では、旧本社及び旧東京支店を売却したことに伴う「固定資産売却益」3億5百万円を特別利益に計上いたしました。一方で早期希望退職制度の実施に伴う「事業構造改善費用」5億37百万円、埼玉事業所の閉鎖の決定等に伴う「減損損失」4億68百万円、旧堺営業所の売却等に伴う「固定資産除売却損」1億28百万円を特別損失に計上いたしました。

Q 次期の展望と今後の見通しについてお話しください

A 高付加価値製品の販売に注力し収益構造の転換を図ります。また事業構造改革を引き続き断行いたします。

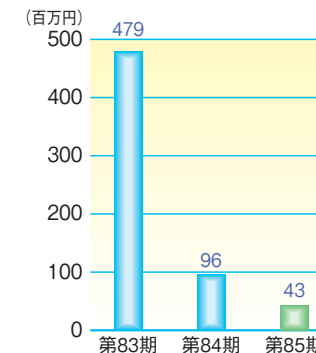
次期の見通しにつきましては、円安による輸入品調達価格の高止まりが予想されることから、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況で当社は、収益性の低い取扱い品目の見直しを継続するとともに高付加価値製品の販売に注力し収益構造の改善を目指します。また、事業構造改革にも引き続き取り組み、収益力の強化を図ってまいります。

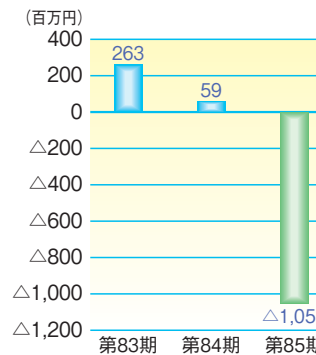
次期の業績につきましては、売上高283億40百万円(前期比0.4%減少)、営業利益3億30百万円(同393.6%増加)、経常利益3億20百万円(同636.1%増加)、当期純利益1億90百万円(前期は10億53百万円の当期純損失)を予想しております。

(注) 予想数値につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

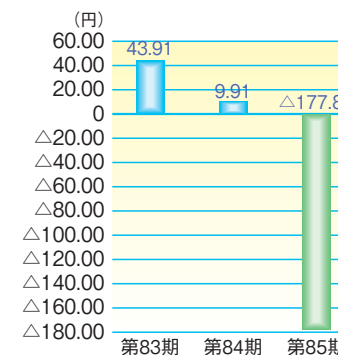
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



資産の部

①流動資産
流動資産は、153億46百万円で前期末に対して13億67百万円減少いたしました。
「現金及び預金」が6億13百万円減少、「受取手形」・「電子記録債権」・「売掛金」が20億1百万円増加、「未収入金」が28億68百万円減少したことが主な要因です。

②固定資産
固定資産は、29億33百万円で前期末に対して19億18百万円減少いたしました。
有形固定資産で、「土地」が10億29百万円減少、「建物」が6億9百万円減少、投資その他の資産で、「繰延税金資産」が1億49百万円減少、「保険積立金」が1億47百万円減少したことが主な要因です。

負債の部

③流動負債
流動負債は、72億80百万円で前期末に対して8億90百万円減少いたしました。
「支払手形」・「買掛金」が2億92百万円減少、「短期借入金」が3億円増加、「1年内返済予定の長期借入金」が8億78百万円減少したことが主な要因です。

④固定負債
固定負債は、71億12百万円で前期末に対して13億90百万円減少いたしました。「長期借入金」が14億3百万円減少したことが主な要因です。

貸借対照表

(単位:千円)

	平成27年3月期 (平成27年3月31日現在)	平成26年3月期 (平成26年3月31日現在)
① 流動資産	15,346,177	16,713,911
② 固定資産	2,933,957	4,852,402
有形固定資産	1,809,593	3,521,495
無形固定資産	74,435	79,382
投資その他の資産	1,049,929	1,251,525
資産合計	18,280,135	21,566,313
③ 流動負債	7,280,150	8,170,412
④ 固定負債	7,112,224	8,502,391
負債合計	14,392,374	16,672,803
株主資本	3,591,383	4,715,361
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	1,590,027	2,643,445
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金	1,503,927	2,557,345
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	498,927	1,552,345
自己株式	△74,241	△3,681
評価・換算差額等	296,376	178,148
その他有価証券評価差額金	296,376	178,148
純資産合計	3,887,760	4,893,510
負債及び純資産合計	18,280,135	21,566,313

株主資本等変動計算書

平成27年3月期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金		利益準備金	株主資本			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		利益剰余金					
					配当引当積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	1,552,345	2,643,445	△3,681	4,715,361
当期変動額										
剰余金の配当										
当期純損失(△)							△1,053,417	△1,053,417		△1,053,417
自己株式の取得									△70,560	△70,560
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△1,053,417	△1,053,417	△70,560	△1,123,977
当期末残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	498,927	1,590,027	△74,241	3,591,383

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	178,148	178,148	4,893,510
当期変動額			
剰余金の配当			—
当期純損失(△)			△1,053,417
自己株式の取得			△70,560
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	118,227	118,227	118,227
当期変動額合計	118,227	118,227	△1,005,749
当期末残高	296,376	296,376	3,887,760

損益計算書

(単位:千円)

	平成27年3月期 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	平成26年3月期 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
売上高	28,445,881	30,918,761
売上原価	23,463,813	25,215,096
売上総利益	4,982,067	5,703,664
販売費及び一般管理費	4,915,213	5,618,352
営業利益	66,853	85,311
営業外収益	72,473	113,605
営業外費用	95,853	102,708
経常利益	43,473	96,209
特別利益	321,937	62,259
特別損失	1,190,119	17,719
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 824,708	140,749
法人税、住民税及び事業税	16,124	89,914
法人税等調整額	212,584	△ 8,549
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 1,053,417	59,385

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 16,000,000株
発行済株式の総数…………… 6,000,000株
株主数…………… 1,986名

大株主 (平成27年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社TK	600	10.35
川本 武	296	5.10
カワモト取引先持株会	272	4.69
株式会社みずほ銀行	249	4.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	249	4.30
株式会社りそな銀行	175	3.01
川本 洋之助	170	2.94
川本社員持株会	168	2.91
第一生命保険株式会社	100	1.72
川本 佐栄子	82	1.42

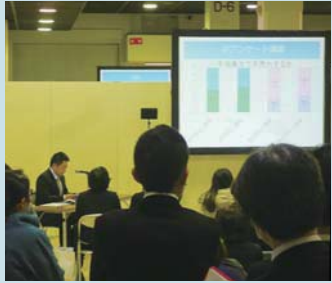
※1. 持株比率は自己株式(204,223株)を控除して計算しております。
※2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

「ステア®ジェル(リフレッシュアロマ)」に関する発表がされました!

平成27年2月22日・23日に兵庫県で開催された「第30回日本環境感染学会総会・学術集会」にて東大和病院の橘氏が「ステア®ジェル(リフレッシュアロマ)」を使用した「手指消毒の使用率UPのための工夫」の発表をされ、当社は併設展示に出展いたしました。

- 平成27年2月23日(土)
- 演題 「手指消毒剤の使用率UPのための工夫」
- 演者 東大和病院 橘康治氏

指定医薬部外品
販売名：ステアジェルa
承認番号22500DZX00203000



スクリーンを使用しての発表

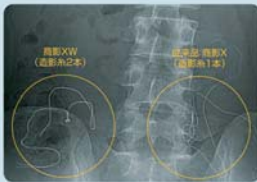


併設展示

X線造影糸の検出能に関する発表がされました!

平成27年1月25日に兵庫県で開催された「日本放射線技術学会近畿部会第58回学術大会」にて大阪大学医学部附属病院の山本氏が、「手術による異物遺残防止のためのX線造影糸の検出能について」の発表をされ、当社の社員が共同演者として参加いたしました。

- 平成27年1月25日(日)
- 演題 「手術による異物遺残防止のためのX線造影糸の検出能について」
- 演者 大阪大学医学部附属病院 山本敬史氏



医療機器
販売名：商影XW
届出番号：27B1X00006570505



写真右 山本氏



展示会場外観

■会社概要 (平成27年3月31日現在)

社名 川本産業株式会社
設立 昭和6年1月
資本金 883,000,000円
従業員数 446名(内、契約雇用者数72名)

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
証券コード 3604

■事業所

- 本社 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル
- 支社
 - 東京支社 東京都江東区東陽6-3-2 イースト21タワー4階
- 営業所
 - 仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4階
 - 名古屋営業所 愛知県名古屋市西区城西3-12-12
 - 京都営業所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1
 - 南大阪営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 神戸営業所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5
 - 広島営業所 広島県広島市中区白島中町2-2
 - 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダント95 7階
- 出張所
 - 札幌出張所 北海道札幌市東区北24条東15-4-20 日弘ビル4階C号室
 - 高松出張所 香川県高松市多肥下町21-1 香西ハウス1階
- 駐在所
 - 鹿児島駐在所 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-68-1
- 工場
 - 大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 埼玉工場 埼玉県加須市花崎5-31-2



■役員 (平成27年6月25日現在)

取締役会長	川本 武
代表取締役社長	後藤 朋
取締役	水藤 上
取締役	福井 博
取締役	福川 智
取締役	高尾 竜
常勤監査役	横田 茂
監査役	日 上
監査役	親 泊

(注) 監査役日上俊彦、親泊伸明両氏は社外監査役であります。
※印の取締役は執行役員を兼務しております。

■執行役員 (平成27年6月25日現在)

執行役員	上野 貴
執行役員	小澤 徹